

現状と課題

River & Coast 2024

本県は毎年のように発生する浸水被害を防止するために、これまでも河川改修を進めてきましたが、県管理河川の整備率は約46.8%（令和5年度末）と国管理河川堤防整備状況の約70.3%（令和3年度末）と比べてもまだ低い水準にあります。

一方、本県の海岸線は、総延長約2,643kmです。このうち、水管理・国土保全局所管の海岸保全区域の指定延長は192km、152地区が指定されており、令和4年度末で約69%の整備率となっていますが、台風等の高波により侵食等の被害が発生しています。

河川の氾濫や海岸の高潮などによる水害から地域の生命財産を守り、災害に強い県土づくりを進めるには、施設整備のハード対策だけではなく、住民の避難や危機意識の向上の一助となる情報提供を主体とするソフト対策も同時に整備する必要があります。

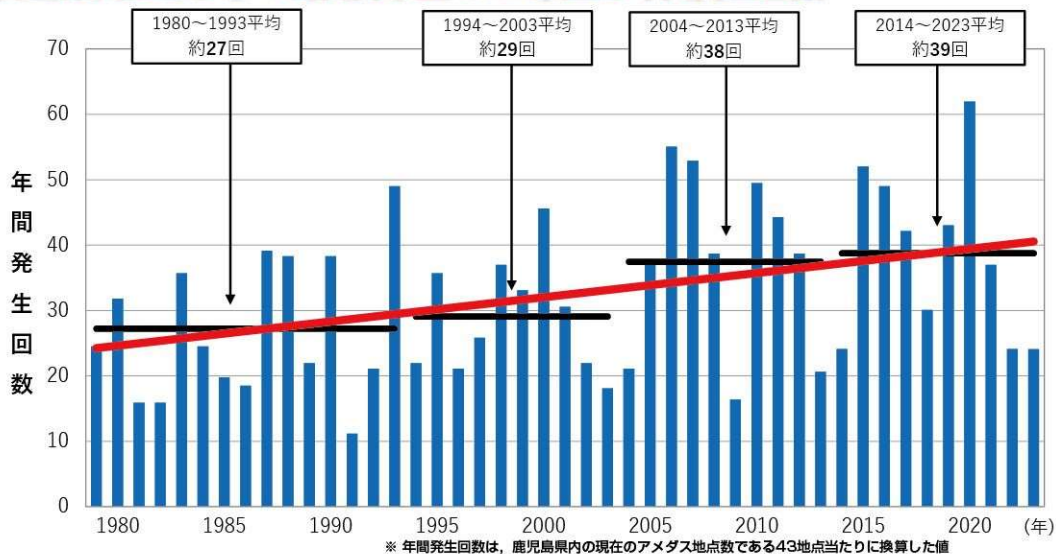
今後、堤防や樋門等の河川施設、海岸施設などの点検・維持を確実に実施するとともに、的確な情報発信や提供、防災知識の啓発等を進めていく必要があります。

これまでの大雨による災害

発生年月日	気象	雨量(mm)			人的被害(人)			建物被害(棟)			
		連続雨量	時間最大	観測所	死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水
H5.7.31~8.2	前線	645.0	77.0	溝辺	120	1	350	730	1,087	12,053	12,593
H6.11.16~18	豪雨	288.0	78.0	上中	2	0	7	0	2	22	289
H7.8.10~11	豪雨	361.0	99.0	鹿児島	1	0	4	7	5	341	1,256
H8.6.16~18	前線	254.0	74.0	紫尾山	0	0	50	13	63	45	560
H9.11.28	豪雨	154.0	71.0	上中	27	0	134	50	93	544	2,992
H10.10.23	豪雨	155.0	95.0	喜界島	0	0	6	3	7	79	813
H11.6.10~13	前線	367.0	92.0	名瀬	0	0	74	39	121	39	300
H12.6.24~25	前線	249.0	126.0	枕崎	2	0	1	12	45	214	1,269
H13.9.1~8	豪雨	680.0	126.0	種子島	1	1	4	10	1	84	423
H14.6.28~7.1	豪雨	373.0	74.0	宮之城	0	0	7	8	55	7	156
H15.9.10~13	台風	253.0	93.0	輝北	2	0	15	4	11	85	317
H16.9.28~29	台風	223.0	89.0	阿久根	3	0	67	21	86	153	1,636
H17.9.3~7	台風	405.0	112.0	花岡	5	0	18	54	52	283	1,678
H18.7.20~24	豪雨	1237.0	60.0	紫尾山	5	0	137	255	1,307	356	1,611
H19.7.12~15	台風	764.0	83.0	上屋久	2	0	12	18	11	61	613
H20.11.6	豪雨	276.0	128.0	長雲	1	0	1	5	5	53	236
H21.3.21~22	前線	128.5	77.5	田代	0	0	0	0	1	2	65
H22.10.18~20	豪雨	968.0	131.0	住用	5	0	4	15	449	148	1,044
H23.9.25~28	豪雨	625.0	100.0	長雲	4	0	0	6	274	266	1,040
H24.9.29~30	台風	380.0	118.0	瀬相	1	0	7	64	312	126	789
H25.6.8~11	前線	246.0	71.0	平内	0	0	1	38	189	2	37
H26.7.6~7	前線	248.0	94.0	平川	0	0	32	0	5	0	66
H27.4.30~5.1	豪雨	311.0	142.0	大崎	0	0	24	12	95	19	199
H28.9.19~9.20	台風	294.0	133.0	坂元	1	0	12	10	62	59	360
H29.8.3~8.7	台風	594.0	132.0	薩川	3	0	14	2	4	59	389
H30.5.18~19	豪雨	131.0	98.0	郡山町	2	0	28	48	284	53	181
R1.5.17~20	豪雨	453.0	96.0	安房西	2	0	12	10	8	83	213
R2.7.24~25	前線	179.0	110.0	獅子島	2	0	20	26	55	140	360
R3.7.9~7.11	前線	591.0	119.0	平川(国)	1	0	0	0	0	68	198
R4.9.17~20	台風	647.0	34.0	正部	0	0	19	1	8	9	76
R5.6.17~22	前線	686.0	99.0	今里	0	0	10	0	0	39	168

※令和5年12月末現在 ※出典：災害の記録（鹿児島県） ※雨量は、その年の時間最大を記録した観測所のデータを表示 ※人的被害、建物被害は、その年の総数

鹿児島県内における1時間降水量50mm以上の年間発生回数



気候変動の影響により、短時間強雨の発生回数が増加し続けているらば！



県では、毎年のように河川の氾濫や高潮等による浸水被害が発生し、人命が危険にさらされ、財産の損害が生じており、浸水被害対策は緊急の課題となっています。

このため、「防災施設」、「情報」が一体となった『安全な地域づくり』を目指すとともに、自然環境に配慮しながら、河川・海岸整備を進めます。



安心・安全な県民生活を実現する強靱な県土づくり

河川

1.安全で安心な暮らしを守る川づくり

洪水から生命・財産を守り、安心して暮らすことのできる川づくりを推進します。

- ①安全で安心な川づくり
- ②安全と水のめぐみに貢献するダム
- ③速やかな災害復旧と災害の再発防止

2.豊かな自然環境に配慮した川づくり

川が本来有する生物の生息・生育・繁殖環境の保全と創出に向けた川づくりを推進します。

河川改修に当たっては、環境に配慮した多自然川づくりを行います。

3.誰もが親しめる魅力的な水辺空間の創出

市町村が実施する河川を生かした地域整備に併せて、誰もが川に親しみ、地域におけるふれあいの場となるような、水辺空間を創出します。

海岸

4.防護・環境・利用が調和した海岸づくり

人命・財産を守るとともに、自然環境の保全・再生と、有効な海岸の利用を目指した、防護・環境・利用が調和した海岸保全を推進します。

共通

5.総合的な防災・減災対策(ハードとソフト一体的に)

施設整備を着実に進めるとともに、施設の能力を超えた災害に対処するため、防災情報の収集・伝達及び市町村へのハザードマップの作成支援など、ソフト対策の一層の充実を図ります。

6.適切な維持管理

安全安心で豊かな自然環境が保全された河川・海岸を確保するために適切な維持管理を行います。

7.地域との連携と対話の推進

県民と行政との連携と対話により、河川・海岸づくりを推進します。

河川整備基本方針・河川整備計画

河川整備基本方針

長期的な河川整備の最終目標

定める事項（河川法施行令第10条の2）

- 当該水系に係る河川の総合的な保全と利用に関する基本方針
- 河川の整備の基本となるべき事項
 - ・基本高水並びにその河道及び洪水調整施設への配分に関する事項
 - ・主要な地点における計画高水流量、計画高水位、計画横断形に係る川幅、流量の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

河川法第16条

河川整備基本方針の案の作成

（一級河川の場合）
社会資本整備審議会

（二級河川の場合）
都道府県河川審議会

意見聴取
↓
河川整備基本方針の決定・公表

※都道府県河川審議会がある場合

河川整備計画

河川整備基本方針に沿って定める中長期的な具体的な整備の内容（計画対象期間：20～30年程度）

定める事項（河川法施行令第10条の3）

- 河川整備計画の目標に関する事項
- 河川の整備の実施に関する事項
 - ・河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要
 - ・河川の維持の目的、種類及び施行の場所

河川法第16条の2

河川整備計画の案の作成

意見聴取
↓
意見を反映させるために必要な措置

学識経験者
関係住民

↓
河川整備計画の決定・公表

（一級河川の場合）
関係都道府県知事
（二級河川の場合）
関係市町村長

河川工事・河川の維持

大規模特定河川事業（新川 JR橋梁架替）

大規模特定河川事業とは、計画規模の洪水が生じた場合の危険性が極めて高い状況となっている区間について、計画的・集中的な対策を実施することにより、早期に治水安全度を向上させることを目的としております。

新川水系新川は、鹿児島市内の住宅密集地を流下しており、豪雨による洪水等で度重なる甚大な被害が発生したことから、大規模特定河川事業を活用してネック地点であるJR橋梁の架替を集中的に進めているところです。



平成5年8月6日の新川の状況



施工前の施工状況



上部工の施工状況

過去の浸水被害

洪水名	1時間雨量	浸水家屋数(戸)
昭和44年6月30日	40.0	324
昭和61年7月10日	58.0	187
昭和63年8月22日	52.0	116
平成5年8月6日	56.0	1,379
平成7年8月11日	99.0	1,283
平成10年10月7日	68.5	150
平成15年7月29日	58.0	302

JR田上橋りょうの架替状況



令和6年2月撮影

橋の架け替えも終わってほっと一安心りば！



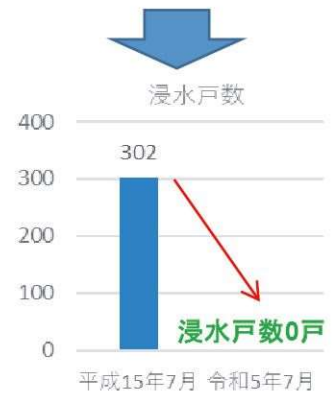
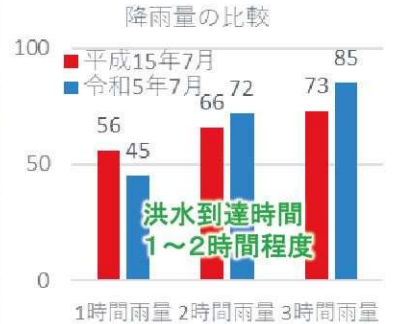
河川整備の効果

River & Coast 2024

河川整備の効果事例（鹿児島市：新川）



(観測局：鹿児島地方気象台)



防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

近年、気候変動の影響により気象災害は激甚化・頻発化、また、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化することから、このような危機に打ち勝つため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の更なる加速化・深化を図り、災害に屈しない強靱な国土づくりを進めるものです。

対策期間である令和3年度から令和7年度までの5か年に追加的に必要となる事業規模等を定め、重点的・集中的に対策を講ずることとしております。

大雨の時にしっかりと効果を発揮しているりば！



主な取組内容（河道掘削等）

